

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

ヘルパンギーナに注意しましょう！

先週一旦減少しましたが、今週再度増加しました。例年夏場に流行する感染症で、今後更に増加する可能性がありますので注意が必要です。

【潜伏期間】: 2～5日

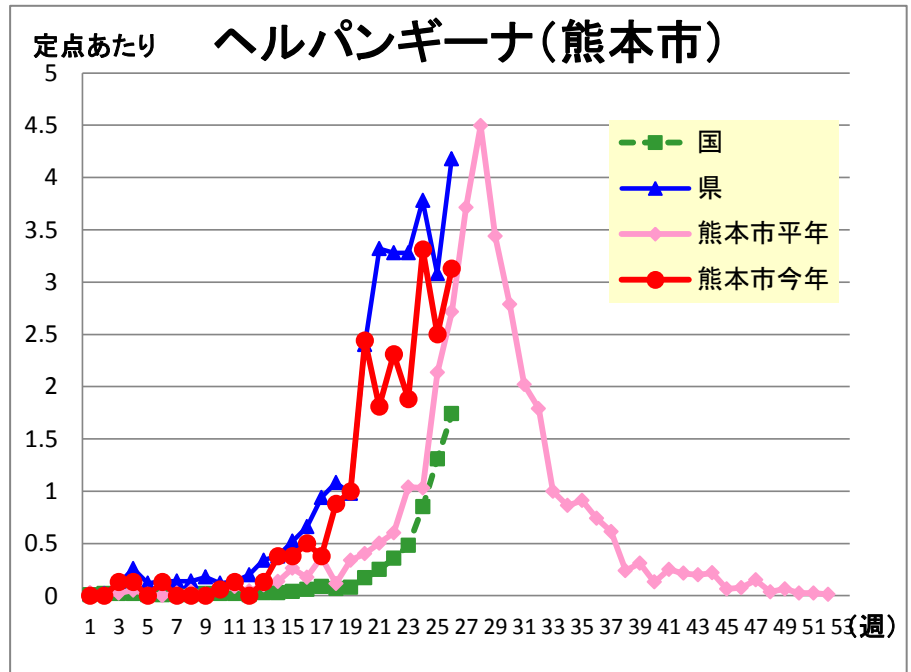
【症状】: 発熱(38度以上、時には39度～40度近い高熱を発症するケースも)、口腔内の口内炎や水疱、咽頭炎

ほとんどの場合経過は良好ですが、まれに髄膜炎や心筋炎を起こすことがあります。特に、ぐったりしている、強い頭痛・嘔吐を伴う発熱が2日以上続く、などが見られた場合は医療機関を受診するようにして下さい。

原因となるウイルスにはいくつかの型があり、何度もかかってしまうことも珍しくありませんので、予防対策をしっかりと行いましょう。

【感染予防のポイント】

ウイルスは、患者の鼻水や唾液、便などに存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排出されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後には、流水と石鹸で十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。



期 間		第25週		第26週	
		6/16～6/22		6/23～6/29	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	⬇	15	0.94	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	28	1.75	30	1.88
感染性胃腸炎	➡	55	3.44	50	3.13
水痘(みずぼうそう)	➡	5	0.31	8	0.50
手足口病	➡	25	1.56	27	1.69
伝染性紅斑(りんご病)	➡	1	0.06	1	0.06
突発性発疹	⬆	14	0.88	19	1.19
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	⬆	40	2.50	50	3.13
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	1	0.06	2	0.13
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	17	3.40	11	2.20
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	2	0.40
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	2	0.40
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	1	0.20	0	0.00